



第423号

昭和46年1月5日

昭和24年10月10日第三種郵便物認可

やお市政だより

発行所 大阪府八尾市役所
八尾市本町1 TEL代0389
印刷所 サンケイ印刷株式会社

市民憲章 わたくしたち八尾市民は 1. 若い力をそだてましょう。1. あたたかい心でまじりましょう。1. みどりのまちをつくりましょう。1. 文化財をたいせつにしましょう。1. 働くよろこびに生かしましょう。

市の動き

新年のお慶びを申しあげます

昭和46年 元旦



●新春座談会●

明日の八尾市をどう築くか



《出席者》

角田 静子氏 (婦人団体連絡協会会長)
角倉 俊一氏 (青少年問題連絡協会会長)
岡登代一氏 (商工会議所専務)
松島 定次氏 (自治振興委員会会長)
田中吉治郎氏 (社会福祉協議会会長)
田中 三郎氏 (同和对策審議会会長)
片岡 信男氏 (八尾農業協同組合参事)
種谷 洋三氏 (地区労委員長)
当座 幸男氏 (青年会議所理事長)
大橋市長・浜田市議会議長

司会

武部 善人氏 (大阪府大経済学部長)

1971年の新春を迎えるにあたりまして、これからの八尾市の行政はいかにあるべきか、という点について市長、議長をまじえて各界の代表の方々と新春座談会を開き、おおいに語っていただきました。司会は大窪に在住の武部善人氏にお願いしました。



市の動き

司会＝みなさん、明けましておめでとうございます。けようは71年の新春を迎えるにあたりまして、わたくしたちのこの町、八尾市をこんごどういうふうにするか、町づくりはいかにあるべきかということにつきまして、新春放談会を開きたいと思っております。

どんなことでもけっこうですからおおいに放談していただきたいと思っております。まず市長さんから、町づくりはどうしようと思っておられるのか抱負でもお聞かせ願えれば……。

●住みよい町づくりは都市開発から……

市長＝明けましておめでとうございます。新春にあたりまして、私の考えています町づくりという点につきまして、ひとこと言わせていただきますが、町づくりといいますが、非常に範囲が広がりますが、明日の八尾市を築くためには、まず都市開発ということがあります。私がいま考えています都市開発のひとつに、市の玄関ともいえるべき、近鉄と国鉄の八尾駅前を、もっと良くしていくという問題がございます。

この駅前は、八尾市の表玄関というべきものですから、これを立派な玄関にして、どなたがこられましても、いい印象を持っていただくと共に、たくさんの方が利用するところをきれいにしたいと考えています。

いま、近鉄の方は、高架にして、あのあたりを区画整理する問題と商店街との連絡につきまして調整を行なっているんですが、国鉄の方も青写真を引いて、近い将来、整備に着手して参ります。

周辺部も北若林、川辺地区、川辺は大阪市域でございますが、ここを大阪市と手をとって開発事業団をつくりまして、約19万坪の土地を流通加工センターとして開発するため、いま用地の買収にかかっているわけです。

高安山につきましても府の方で青写真ができてありまして、これをもとにしまして山全体を公園にする計画でございます。この恵まれた自然の中で、市民がお互いに楽しめる、緑の豊かなレクリエーションの場にしていきたいと考えています。

それと曙川北の区画整理も着々と進行していきまして、西の久宝寺緑地、これはことし中に完成する予定で、夏にはプールもできるんですが、これらでもって「八尾を住みよい町にする足がかりにしたい」と考えております。

議長＝新年明けましておめでとうございます。ことしはいま市長が話をしましたように都市間の中でも近鉄、国鉄の八尾駅前の整備という八尾市百年の基礎をなす大きな仕事をかかえていますか。

私たち全市政会議員はこの問題解決にあたって、市民のみなさんとともにじゅうぶん理解を深めて、積極的に活動したいと考えていますが、こんごますますみなさん方と対話を十分に行なっ



て、残された任期を市民の信託に応えるべく努力をしております。

司会＝市長さんが言われた都市開発のすべり方において道路行政というもの非常に大事だと思っております。昔中国では水を治められぬのは国を治めるべきでないといわれたが、日本では道だと思っております。そのため道路行政を積極的にやっていただきたい。

それから八尾市の森ですね、今やとかないと、とんでもないことになると思っております。

また、きれいな町、空気のおいしい町、八尾市へ行ったら空気のおいしいといわれるような町にしていただきたい。これのできるのは八尾市以外にないと思っております。

国は八尾市のためにもっといいアイデアを出して「国のモデル地区」としてですね、積極的に指導する姿勢がほしいですね、またわけのわからぬ所へ使っている金をですね、ぜひ八尾市へ持って来てくれるというような姿勢がほしいですね。

松島さん＝近鉄駅前整備と国鉄駅前整備というのは71年に着々と工事が進められるということですので私は下水と河川の問題につきまして……。

下水の八尾市全域に対する充実ということは、これは76年ぐらいでなきゃ完成しないと聞いているんですが……。

まあ、現在でしたら大阪市が平野川の改修を行なっているんですが年数がかなりすぎている、そのため国道25号線以南の地区なんかは大雨のたびに迷惑をうける。また団地がどんどん進出してきてよけい排水が悪くなり、非常に苦しんでいるのであります。

また他の地区全般についてもいえることで先日行なわれた「市長を囲む懇談会」でも各地区から寄せられた要望のうち建設部開発部関係でその市民の要望が高いことを如実に示していることを配慮していただきたい。



岡壁さん＝私も下水の問題についてひとこと……

現在、市内で行なっている下水工事で業者の看板が立派な看板が立っているが、その工事の理由、説明は全然ふれていない。

たとえば、下水道〇〇線をどこそこの業者がやるということは明示されてるんですが八尾市では「こういう計画で、完成する期日、その間大変市民にご迷惑がかかる」と言うような事が全く書いていない。

種谷さん＝全くその通りですね……。その問題について先日、東京へ行ったとき地下鉄工事に出会ったんですが、さきほど岡壁さんがいわれたように東京の場合は、「こういう理由で大変ご迷惑をおかけしています。」と結局悪いということを書きましてですね……工事監督者がパッと市民に向けて敬礼して、謝罪の意を表している絵が描いてあるんですよ、こういうユーモアをまじえた配慮がほしいですね。

市長＝今までいわれた下水工事のことなんですがこの工事が非常に市民に迷惑をかけているということは、私も十分承知しております。

十分横の連絡がないためだということでございますが、何分八尾市の土地そのものが……道路そのものが……狭いためでございます。

その中に太い下水管を入れていかなければならぬという一つの難点を持ってやっていますので市民のみなさん大変迷惑をおかけしている

と思っております。

しかし、これをやらなかったらいつまでたってもだめなんで、今後、十分そういう点を市民の方に理解していただくため、連絡を密にしていきたい考えです。

岡壁さん＝先程、市長から説明のあった若林の流通加工センターの問題ですが、まずいくらで売るんだということを先に決めていただきたいと思っております。



でないと各会議所関係の事業所はそこへ応募できないという問題がでて参ります。この団地は一般の流通団地としての機能を発揮するためには、どういった関係者に売却する

んだという基本方針をお聞かせ願えないと、資本によって、件数によって政府に融資をたのむ計算もできないということ、立候補できないということも参ります。

市長＝開発事業団でやっています流通加工センターですが、若林と川辺を合わせて約14万坪ございまして、ちょうど中央環状線と外環状線をつなげる場所で、いま買収をやっています。市民のみなさんご協力をお願いしているんですが、いづれ整備をいたしまして、立派な道路をつくり、緑を保ち、その中で流通部門、あるいは加工部門に分けていくわけですが、その時には売り値を早く知らせておく方が八尾市の方に入っていくのに都合がよいと考えています。そうするためにも土地の買収につきまして、計画の全部をわけていただくようご協力をお願いしています。

当座さん＝いま、若林、川辺地区を開発しているそのことですが、これは、八尾市と大阪市とが、行政協定を結んだ結果、やっております。八尾市は大阪市との結びつきも大きくし、市民の中でも、大阪市との合併を望んでおられる市民が多いと思うんですが、果たしてそれが、可能性のある問題かどうか……

あまり可能性のないものであれば、現在の段階で、この行政協定だけの統一行政を進まれていくものかどうか……

その問題で理事者のみなさんに考えていただきたいことはですね……八尾市の近所の柏原市とか藤井寺市のような、単一都市としては大きくはやっていけない都市との広域行政もお考えだと思いますが、これらの都市と合併したいは、八尾市が以前から取り組んでいる緑と空間のある町「八尾市」に十分即応するのではないかとこのことをご配慮願いたいんであります。

●緑の町をつくるため植林や田んぼ、畑も残していこう

司会＝いま当座さんから緑と空間のある町という発言がありましたが、この問題についてはいかがですか。

片岡さん＝町づくりをする上において、市民憲章にも「みどりのまちをつくりましょう」とありますように、なんでもかんでも家を建てていっていいというのではなく、緑のある町住みよい町にするために、ある程度、田んぼや畑を残していく。そういう緑を残しながら町づくりをやっていただきたい。

市長＝そうですね。私もも緑をいかにしてこんご確保していくかという問題は、非常に重大な問題だと思っております。

司会＝これだけですねえ、市民憲章にうたった緑の町はないんですよ。やはり緑の町を確保しておくためには、具体的にですね、や

はり大きな緑地をとっていく。幸いですが、ここはご存じのとおり、植木の本場でもあり産業としても立派であるし、そういうものを生かして緑を作っていくことですね。

岡壁さん＝そうですね。八尾にはたくさん植木屋さんがございまして、穴太でも年2回、植木市をやっています。

私、思いますのに、そういうような巡回的な植木市を、安売りですね、それを婦人会あるいは自治振興委員会あたりのご後援でやると、そして自然に樹木を植えて緑が多くなるのではありませんか。

角田さん＝それは、おもしろいですね。

岡壁さん＝それからですね、青年会議所が市民憲章の中の「みどりのまちをつくりましょう」ということで緑の銀行をやっておりますが、緑というものは、一朝にして緑が八尾市内に充満するわけじゃございせん。現に明治神宮の森でも、あるいは、権原神宮にいたしましても、何十年かしないと緑が群生しないという問題もございまして、そういう点に対しても、青年会議所あたりの緑の銀行に補助制度をお考え願いたい。

当座さん＝岡壁さんから、青年会議所というお話がございまして私ども緑の銀行というものを、市民憲章の緑の町をつくるという事で去年からやっているわけなんですが、なにぶん100人ぐらいの小さな団体でございまして思うようにはいきません。

岡壁さんからお話のあったのは、そういうような緑の町をつくるというものに補助金という事じやなしに、行政でやるべきと考えております。

そこで、私、昭和60年の人口密度は、1万1千人という目標はわかるのですが、それは全体の1万1千人であって、中には非常に過密な所ができるのではないかとおもうんです。そのために青少年の憩いの広場とかいうような場所を多くとってもらおうと、そうするとそこに少なくとも緑が残るのではないかとこの考えをもちまして……

片岡さん＝高安山の開発ですが、これも山火事ばかり起って木が育っておらん。もう少し何とか方法を考えていただいて、緑のいっぱいある高安山につくっていただきたい。

岡壁さん＝まったくそのとおりで、今、高安山に木を植えてもめったに成長しないと思うんです。そこで地質検査あるいは調査をやった植林できる種別を調べ、計画してもらいたいと思っております。

市長＝高安山の開発ですが、これは府にやっていたらいいんですが、たとえば、その中腹に府民の森をこしらえる。

その府民の森をつなぐ道路をずっと横につけるわけですが、それなんかでもですね、道幅は3.6m。車かいろいろ通るようございましてそこを車を通さないで、府民の歩道にするということでございます。しかしですね、何か災害の起った時には、消





やお市政だより

第423号

3

昭和46年1月5日

市の動き

防自動車を通れるように、ひとつ、道路の入口にさくをつくり、カギをかけまして、カギを消防士とか市の方でもって置く。そういうかっことでございます。

道幅はわずかですけれど、実際買収いたしますのは30mほどでございます。というのは山の膚が、赤い膚が見えてはいけないというので、斜面の方まで買収いたしまして、そこに木を植えて、こちらから赤い膚が見えないようにと、非常な気の使いようやっていただいております。

それからですね、ケーブルの高安山駅がございまして、あの一帯と中腹とに、いわゆる自然科学公園というような名前、自然の中に立派な公園をつくっていく。

やがて、府営によっていろいろと事業をやらせてもらおうと考えております。

松島さん=けっこうなことだと思います。

市長=それからですね、久宝寺緑地公園が、いよいよ本年、完成いたします。この夏にはプールも開設される予定であります。

岡壁さん=久宝寺緑地ができましたら、八尾市のを1つ造っていただいで、森を大きくしていくというようにしてもいいんじゃないかと思っています。

市長=みなさんから、いかにして緑を確保していくかという問題につきまして、いろいろと発言していただきましたが、そういう問題につきまして、今後、努力を続けていきたいと考えております。

●福祉関係の施設は、まとめて総合センターにしては

司会=緑の問題はこの程度にしまして、最近社会開発ということがやかましくいわれ出しましたが、これはこれまでの生産第1主義から国民福祉を重要視し、われわれ住民の福祉が向上され、幸せな毎日を暮らし、明るい将来が建設されるという質的な転換期にきております。

こういう意味から社会福祉という面から発言をお願いしたいのですが。

田中(吉)さん=私の関係しております社会福祉の面から申し上げますと、私は過日、福祉会館にしまして宣言を行なつたのでありますが、その宣言文の中に、総合福祉センターの建設と、各種団体の大幅助成という2つのお願いを申し上げた次第です。そういう意味で、ぜひ、ひとつ、総合福祉センターの建設は、今年度中に願いたく思います。

市長=まあ、市にいたしましたも、市民の立場から考えまして、将来、青少年のいこいの場所、老人福祉センター、精薄の子ども、身体障害者のかた、そのほか恵まれないかたがたの施設を、じゅうぶん充実していきたいと考えております。

田中(吉)さん=私の希望といたしましては、せっかく作っていただくんでしたら、各種団体がじゅうぶん活用できるような福祉センターにしていただいで、今までのように、例えば、この庁舎のように、次々つぎたしていかなくてもいいように、一応は、昭和



60年を目標とし、人口36万人ということを考えに入れて、それに見合うような福祉センターを作っていたらいいと思うのであります。

種谷さん=人口36万人に見合う福祉センタ

ーも必要ですが、青少年のいこいの広場とか、老・婦人福祉会館とかは、八尾市にひとつとか、ふたつとかではなく、各地域に作っていただければ、非常に皆さんの利用価値があるんじゃないかと思ひます。

田中さん=とにかく、できるだけ早く実現させていただきたいものですね。

種谷さん=しかし私は思ったんですけれど、市長さんのお部屋は実に立派になりましたねえ。

角倉さん=庭もなかなか立派なものです。種谷さん=ところが、身体障害者がとくに気の毒です。大体八尾市に2,000人いらっしやいます。

田中(吉)さん=それら身体障害者の訓練は、訓練所なり、あるいは保健所を借りてやっております。

角倉さん=特に、肢体不自由児訓練所の角田学級がやっていたおきこの問題についても、はたしてあれだけの小さい建て物の中で、あれでいいのか。このままの状態では、福祉会館の陰になっておる。太陽が西に行ったら陽当りはいいかもしれんが、もっと朝陽の当たるような、山手の方で、こういう施設をひとつづつ作ってほしい。やはりこれは、子どもを生んだ親が、こういう児童のために、もっと陽当りのいい、山間部の、全八尾市が見渡せるような所で、施設を作してほしい。その付近には、やはり老人のいこいの家とか、また、集まれる場所などを設けてもらいたい。

田中さん=精薄児の訓練所や、身体障害者の施設なんかも、ぜひとも、もっともっと完備したものに、ごときは何かやっていたらいいという希望を持っております。

種谷さん=そのほかに、老人問題についてですが老人問題でも、今日、世界ですとね、

60歳以上の自殺をなさるかたが、日本で一番多い、日本が第1位なんです。日本ほど年寄りの自殺する国はないんです。

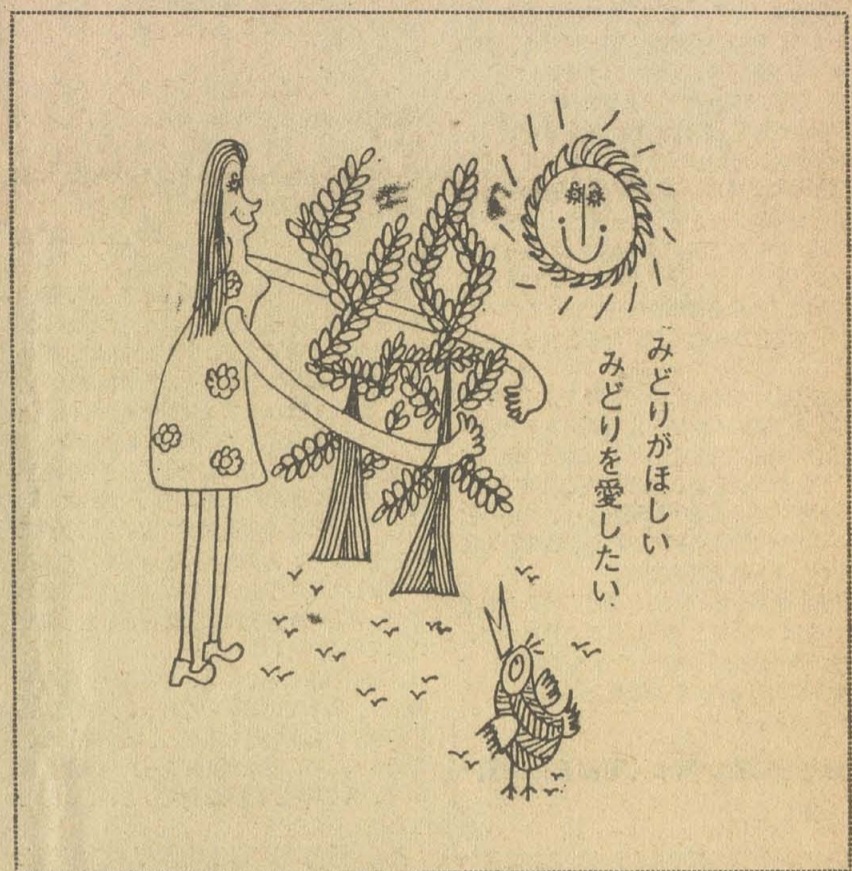
老人を守るということ、まず老人センターの問題とかで出ておりますけれど、私は、これには市長さんの政治に対する若干の批判をしたいんですけれどやっぱり、いくら金をさしても、いい目をさしても、自殺する人はするんです。老人に適切な仕事を与えていく、こういう方法を政治の方向として行なっていく必要があると思ひます。

また、今年度におきましては、各地区に児童公園やちびっ子広場などをたくさん作っていただきましたが、今後の計画はどのようなものでしょうか。

市長=児童公園、都市公園計画につきましては、できるだけ多くの児童公園を作りたいと思ひまして、各地で適当な土地があれば買収させていただいて、そこへ数百坪以上の児童公園を作って、交通災害に悩んでおる子どもを交通災害から、ひとりでも多く防ぐように、しかも緑の中に、子どもが遊べるように公園を各所に作っていくように、こういう風にして、公園環境整備に取り組んでいきたいと考えているものです。

●働く人の生命と健康を大切にする行政を望む

司会=そういう施設をつくることとなりますと、まず土地問題が、重要な問題となってき



みどりりがほしい
みどりを愛したい

ますが農協の片岡さんいかがですか……。

片岡さん=そうですね、最近、政府のいろんな施策で農住団地ということがやかましくいわれていますが、八尾市でも、商工関係者が、住宅に非常に困まっているということです。

土地を持っているのは農家で、結局、都市開発をやるにしてもなににしても、農家の方の土地が問題になってきます。

寮の建設や、店員の募集は、そういう土地がなくてはなかなかできない。田中(三)さん=そうですね。都市計画の問題といひますのは、大きく、土地問題と関連してくるわけですから。

土地がないという問題は、非常に困ったことです。

片岡さん=近鉄の高架問題にしまして、国鉄の駅前整備の問題にしまして、児童福祉の児童公園にしても、結局、やろうとする農家の方の土地が問題になってきます。

田中(三)さん=土地がないという問題は、そういう点で、部落問題にとっても、非常に重大な問題になっているんですよ。

土地を確保することなしには、商工業はもちろん、部落問題の都市計画上の問題の解決を見ることはできないと思ひます。

そういう意味で、土地問題は部落問題と同じように、商工農などあらゆる産業と行政と深い関連を持つといひます。



片岡さん=こういう問題を解決していくためには、地主とのタイアップによって、連携のある幅広い行政が必要になってくるのではないでしようか。

農協団体の関係者と市が打ち合わせをして横の連絡をとって、その計画にそって、両者が話し合いの上で町づくりをしていくことが必要だと思ひ

ます。

市長=その点、市の商工と農村の均衡をはかるという問題も、非常に重要な課題になっております。

片岡さん=やはり、市の行政面において、市民課と産業課とをひとつにまとめるんじゃないに商工農村行政を一本にまとめて、八尾市の商工と農村の均衡をはかっていただきたいと思ひます。

それから、農業団体を一本にまとめるという意味からも、農協を八尾市一体のものにして、そして市の行政と結びつけて考えていただきたいと思ひます。

市長=いま片岡さんからお話しになった問題でございますが、私、これは非常にいい話を聞かしていただいたと感ずるわけです。

というのは、土地を持っているのは農家ですから、農家に協力していただいで町づくりをするというのは大事な問題でございます。

今後町づくりする上において、農業団体と市というものは一丸となってやっっていくかなければならないと思ひます。こういう点について、また、農協さんの内部でいろいろと農業団体のお考えになっておることをうけたまわって、ご協力をお願いしたいと考えております。

また、農協全部を合併して、一本になってやっっていく、いわゆる農協の一本化ということも今後、真剣に取りくまなければならぬと思ひます。

種谷さん=いまお話しした商工の問題も関連しますが、1970年代は内政の年だといわれまますが、私は、内政とは何かと考える必要があるんじゃないかと思ひます。

私は何といひても、働く人たちの命と健康をどのように守っていくかということが、命題でなくちゃいかんと思ひます。

私は、市民の生存権を守れないような政治は、敗北した政治であると、私は常づね考えているわけなんです。

現在の八尾市でも、残念ながら、十分生存権が守られているとはいへないと思ひます。たとえば、交通災害でごときは22名の方がなくなっています。

あるいは、産業災害、労働災害で多くの労



市の動き

働者が死んだり、けがをしたりしています。角田さん＝そうですね、市民の生存権は、自動車や、産業、公害などだけでなく、食品公害からもおびやかされています。

有害食品のおかげで、人間の体は、ものすごい勢いでむしばまれているんですよ。

種谷さん＝そういった問題についてですね、今日まで八尾市の政治はほとんどといってよいほど取り組んでおられないと思うんです。

市長＝私もいま種谷さんのおっしゃったように、今後の行政というものは、若い人や産業で働く人の命と健康を守っていくということが、非常に大きな課題になると思っております。

種谷さん＝そういう点で、現在の市のほうには、産業課だとかいろんな課がありますが労働者の肉体を守るという政治は行なわれていないということ、この機会に指摘して、交通災害、産業災害の問題とまっごうから取り組んでいく政治というものを、この71年にお願ひしたいと思っております。

市長＝まあ、私どもも、働く人の命と健康を守るという点につきましても、交通災害、あるいは一般公害、そういったものにも、十分真剣にとりくんでいかなきゃならんと考えております。

●差別のない町づくりに全市が協力しよう

司会＝市民憲章に「あなたがいかにまじわりたいか」という条文がありますが、あなたがいかにみなさんが交わるということ、それだけでなく、行政各般に具体的に反映されなければならぬ重要なもののひとつに同和問題がございますが、この問題につきまして田中先生からひとつ……。

田中(三)さん＝同和对策特別措置法が制定されて、ことしてちょうど3年目に入りますが、まあ2年間は計画段階で、いまのところ具体的に前進している体制はないわけです。

この問題はこんなふうに解決していくかについては特別措置法の本質からいって国の責任であるし、同時に府、市の行政の責任だということになると思っております。

種谷さん＝そうですね、また行政上の責任と共に今日お集りいただいているみなさんは各界の代表の方ですから、この同和問題を深くご理解をいただいて、あらゆる組織をあげて答申が実現されるよう努力しなければなりません。

田中(三)さん＝落部問題というのは元来政策的につくられたものですから、その解決もやはり政策的にされなければなりません。したがって具体的な行政機能を通じて、いかにそれを実現していくかにかかっていると思っております。

だから都市計画、労働対策、農業問題、社会福祉対策、あるいは教育問題というようにそれぞれの行政機能を通じて、どういふように具体的に解決していくかという問題に深くかかわりあっています。

さきほどの土地問題、さらに例をあげますと福祉関係の身体障害者数でございますと、全国平均よりも八尾市では同和地区のある都市ではその割りがグットふえております。

こういった問題はやはり行政体制を通して解決していかねばならない。そうすると財政上の問題もでてくる。

そういう点では審議会の答申の中でも申しているんですが、やはりじゅうぶん将来を見通した展望をもった政治姿勢というものがなしには、この問題解決にはおおよそ不可能だと……。

我々がいま計画策定段階でも大量の資金を

投入することなしには問題は解決しない。土地問題解決だけでも100億を越える所要資金が必要です。

そういうことになりますと現在の八尾市の行政体制の弱さをつくづく感じます。いまの体制ではたしてうまく解放計画が実現していくかどうかという点に非常に危惧を持っております。これは体制上の問題もありますけれど、現在の補助金体勢が政府の財政上の需要に対する問題が非常に重要なのです。

現在の八尾市の財政事情ではこの問題をまかないきれぬかどうか……。こんごますます問題となってきますが、まず府や国の姿勢をも正すような体制を市自身の行政体制の中で組み上げていかなければ問題は解決しないと思っております。これまでも、将来も非常にやっつけ的な姿勢で問題を糊塗するという可能性が高いように思われます。

こういう現在の政府が、できるだけ中央に財源を集めて、各市町村の独自性をできるだけ圧縮してしまうという全体的な政治姿勢の中で、八尾市が民主的な姿勢をどのように実現していくかということ……。

差別の問題というのは、まさに自治的な問題とかかわっているものであり、先程も、各界の代表の方がいろいろおっしゃいました、ほんとうに市民的な立場に立った権利を保障していく問題と密接に関係しているわけです。

そういう市民的な姿勢を実現していくことに対する市長さんの抱負を大いに聞かせていただきました。

市長＝同和問題についての市の取り組み方でございますが、同和对策審議会から答申をいただきました。それをもとにしまして、いま実施計画策定室の方でいろいろの問題提起、実施計画をねらっております。

それによりますと、大体、土地等の買収費を含めまして、約350億という予算が必要でございます。当然、一日も早く事業を進めたいという希望を持っておりますが、現在8割自治だといわれている中で、先程田中先生がおっしゃいましたようにいかにそれを取り組むかが問題となるわけです。

同和問題につきましては8割まで国や府で責任を持ってやってくれるということになってはいますが、表面上の事業費の8割の補助でやれるかどうか問題がありますので、こんご国の方、府の方と十分交渉をして資金の確保にまい進する所存でございます。

そしてこの答申の計画実現にあくまでも取り組んで、1日も早く差別の無い八尾市を築くため、努力いたしたいと思っております。

司会＝同和問題というのは、田中先生がおっしゃるように教育、農業、社会福祉その他全般にわたって、広い展望をもって行政面に反映していくが必要で、これには多くの金がいりますが、ひとつ基本的な柱をしっかりと持っていて、じゅうぶんに行政面に浸透させ、単に八尾市のことだけに終らせず、府、国に反映させ、広域的な大きな抱負と信念を持ってこの問題にあたらなければなりません。

それについては、その責任者の市長さんがそういう心がまえを持ってやっていただきますようお願いいたします。

議長＝差別の無い町づくりということにつきましては、我々議会人をあげて、この問題

に取り組んでおりまして、みなさんもよろしくご支援いただきますようお願いいたします。

●行政内部の連絡をさらに密接にしてほしい

角田さん＝私は婦人の立場から、案外見捨てられています。ちいさな問題をとり上げてみたいのですが、八尾市のほぼ中央にあります曙川地区なんです、あれだけ人口がふえているのにバスが1時間に1本しか通ってない



ということなのですが、これはどうなっているのでしょうか。バスの増発はできないのですか。

市長＝これはね、あの路線の道が非常にせまいために近鉄さんも困っておられることと、いまひとつ、近鉄八尾駅前バスの発着場所が非常に混雑しているという2点から、なかなかうまくいかないのですが、いま陸運局とどうすればよいか相談をされている所なんです。できるだけ早い機会になんとかみなさんのご要望にこたえられまうように努力したいと思っております。

角田さん＝それから、もう一点、市の行政内部の連絡をもっとよくしてほしいかですか、この間もいつもやってます歳末助けあい運動の募金をやったのですが、担当課が自治振興委員さんとの連絡が悪くて、ちぐはぐになったことがございました。ああいうのはどうしてでしょうか。

松島さん＝まったく同感ですね。岡壁さん＝やはり横の連絡をとるということをもっとよく職員に教育してもらっていただければ、そんなこと起らんのですかね。

角倉さん＝この間も感じたのですが、水道が道を掘る、すぐ舗装をやる、とまた、下水が掘りよる。こんなこと連絡がうまくいってたら、いっぺんにやれることですよ。それにもうちょっと各種団体の連絡も

うまくやってもらわんと困りますなあ。さっきの募金の話やないけど、全部善意でやったことが、あだになりよる。やはり、担当課が中心のカチをとってもらわねばなりません。

司会＝なかなか手きびしいお話ですが市長さんよく聞いてください。ぜひそういうことがないようにしていただきたいですね。角倉さん＝いろいろとお話を聞かせてもらいましたが、青少年問題でひとつこと。

いま、八尾市内で少年犯罪がふえています。いまの話のように八尾市が緑の多い、住みよい町に更生するようになっておるけれども、中味がどうであるか。さていよいよわれわれの後にパトタッチする青少年が、はたしてこれでよいのか、少年、中学生グループの対策に現在、学校がどれだけ悩んでいるのか。最後に市長さんにお願ひしたいことは、こんごじゅうぶんに勤労青少年対策との中学生グループの対策を立てていただきたい。立派なおり箱でも中味がく

さっていたのではなんにもなりません。そして八尾は外観もよいか中味もよいといわれまうように町づくりと共に青少年を健全育成していただきたいと思っております。

市長・議長＝同感です。ぜひそうしたいと思っております。

司会＝最終に非常によいお話を聞かせていただいて、本当にありがとうございました。まさにおっしゃるとおり、これからの八尾市はこの若い世代にあるわけです。つまりは明日の八尾市はこの人びとがなっています。明日の町づくりは若い人びとにあるといういい話してこの座談会を終りたいと思っております。きょうはどうもありがとうございました。



やお市政だより

第423号

5

昭和46年1月5日

市の行事



11 (月)	★家児	
12 (火)	★家児 ★交通 ★青少 ★不用犬の引取り 9.00-15.00 八尾保健所	★ツベルクリンの接種 9.15-11.00 八尾保健所
13 (水)	★家児	
14 (木)	★家児 ★青少	★BCG接種 9.15-11.00 八尾保健所
15 (金)	★近畿交通安全デー ★成人の日	★八尾市成人祭 教育センター 10.00-八尾・山本・久宝寺・西郡地区 13.30-竜華・竹淵・大正・南高安・曙川・志紀地区
16 (土)		
17 (日)	★市民マラソン 10時 志紀中出発	
18 (月)	★家児 ★心配 ★行政	★保育児募集 10.00-15.00 八尾隣保館保育所
19 (火)	★家児 ★交通 ★青少 ★出張献血 10.00-15.00 市立病院 ★不用犬の引き取り 9.00-15.00 八尾保健所	★就学児の健康診査 13.00-15.00 八尾小、華小、用和小、久宝寺小 ★保育児募集 10.00-15.00 志紀保育園
20 (水)	★家児 ★人権 ★結婚	★就学児の健康診査 13.00-15.00 山本小、大正小、桂小、安中小、竹淵小、東山本小 ★保育児募集 10.00-15.00 母木保育所
21 (木)	★家児 ★法律 ★青少 ★婦人スポーツ教室(軟式庭球) 13.30-16.00 ★一般スポーツ教室() 1.730-21.00	★就学児の健康診査 13.00-15.00 南高安小、中高安小、北高安小、曙川小、北山本小 ★保育児募集 10.00-15.00 さくら保育園
22 (金)	★家児 ★身障 ★府の巡回交通相談 10.00-16.00 市民相談室 ★3歳児の健康診査(42年7月生まれの子) 13.30-14.00 八尾保健所	★就学児の健康診査 13.00-15.00 南山本小、志紀小、高美小、長池小 ★保育児募集 10.00-15.00 あげほの保育園
23 (土)		
24 (日)		
25 (月)	★家児 ★市民税第4期分納期日	★保育児募集 10.00-15.00 亀井保育所

★みなさんの近くで起こった善意・善行・伝統的行事などがありましたら市広報係まで(TEL91-3881)



〈市民マラソン大会を開催〉

恒例の「市民マラソン大会」を、ことしも次のとおり開きます。

- ★とき 1月17日(日)午前10時(出発)
- ★コース 志紀中学校—大和川堤防—大正橋—柏原高校—志紀中学校
- 参加される方は午前10時に出発できるように志紀中へお集りください。



〈水道料金委託集金員募集〉

水道局では各家庭の水道料金を集めていただく委託集金員を募集しています。

- ★資格 自転車に乗れる、市内または近辺在住者で身元保証人2人をたてられる人
- ★収入 専業のとき月額5万円以上副業のとき集金1件につき18円程度(集金持件数1,000件以上で、ご希望に応じます)
- ★必要な書類 自筆履歴書、戸籍謄本、証明書用写真2本
- ★申込み 水道局総務課人事係へ
午前8時45分から午後5時まで



〈労働会館分館で落語大会〉

労働会館分館(植松町)では、45年度芸術祭優秀賞を受賞された笑福亭松鶴さんを迎えて「新春上方落語大会」を開きます。

- ★とき 1月16日 午後6時30分
- ★ところ 労働会館分館(近鉄バス植松下車すぐ)
- 入場整理券を1月9日-13日の午前10時-午後5時までに同分館でお渡しします。



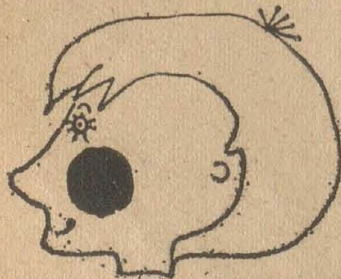
〈今月15日に成人祭を開催〉

新しく成人になられる人の門出をお祝いする成人祭を1月15日に行ないますのでぜひ、ご出席ください。

- ★とき 1月15日(成人の日)
- 午前の部(午前10時) 八尾、山本、久宝寺西郡の各地区の方 午後の部(午後1時30分) 竜華、竹淵、大正、南高安、高安、曙川、志紀の各地区の方
- ★ところ 教育センター(清水町1丁目)

- 【身障】=身体障害者相談 【心配】=心配ごと相談
- 【結婚】=結婚相談 いずれも13時-16時 福祉会館で
- 【家児】=家庭児童相談 10時-16時 福祉会館で
- 【青少】=青少年愛護相談 9時-17時 教育センターで
- 【交通】=交通相談 【法律】=法律相談
- 【行政】=行政相談 いずれも13時-16時 市民相談室で
- 【人権】=人権相談 14時-16時 人権擁護委員会室

●小学校入学児の健康診断を行ないます



今年4月に小学校へ入学する子どもさんが健康な体で就学できるよう、健康診断を行ないますので、父兄の方は忘れず受けさせてください。

- ★対象者 昭和39年4月2日から昭和40年4月1日までに生まれた幼児
- ★就学通知書 1月中旬ごろ、就学通知書を送り、健康診断を受けていただく学校を連絡します。
- ★用意すること 幼児の既往症と種痘・ジフテリアの予防接種の受けられた年月日を答えられるようにしておいてください。

〈健康診断の日程〉

- 1月19日(火) 八尾小、用和小、久宝寺小、竜華小
- 20日(水) 山本小、大正小、桂小、安中小、竹淵小、1東山本小
- 21日(木) 南高安小、中高安小、北高安小、曙川小、北山本小
- 22日(金) 南山本小、志紀小、高美小、長池小
- 受付時間は午後1時から3時まで
- なお、検査日にどうしても受けられない人は、2月16日(火)17日(水)午後1時から3時まで教育センター(清水町1丁目)で受診してください。

お知らせ

●水道のこと

電2-1661

■寒波のシーズン……水道管を保護しましょう

屋外に露出した水道管や水せん柱は、寒さのため凍ったり破裂するおそれがありますので、今から縄や布ぎれをまいて水道管を保護しましょう。

水道局では、簡単に保護できるポリエチレンテープ（1mあたり40円）を準備していますのでご入用のかたは、水道局までおこしください。

■器具は水道と直結しないでください

水道のジャロなど給水装置とじかにポンプボイラー、冷却器などの機械器具を接続することは違反工事になりますから、現在、そのような箇所がありましたら、施工業者に連絡して、すぐにとりはずしてください。

たときは、ぬるま湯をかけて徐々にとかしましょう。急に熱湯をかけると破裂することがありますからじゅうぶん注意してください。万一、水道管が破裂したときは、まず、止水せんをとめて破裂した部分に布、ゴムテープ、ビニールテープなどをしっかりまきつけ針金かひもで縛って応急手当をして、すぐは水道局か市公認の指定工事店に修理を申し込んでください。

そのまま放っておいて、事故がおこっても水道局は一切責任を負いません。

また、水道の改良工事をされるときは、市公認の指定工事店に申し込んでください。

●保険のこと

電91-3881 内線242

■「共済組合の被扶養者になれない、いとこの国保加入について」の質問に答えて

〔問〕私はある国立大学に勤め国家公務員共済組合に加入しています。最近私のおじ夫婦が交通事故で亡くなったので、その子供（いとこ）をひきとって面倒をみることにしました。

いとこは高校生で所得はありませんが、共済組合の被扶養者になれないという話です。いとこは国民健康保険に加入することになるのでしょうか。

〔答〕国家公務員共済組合の被扶養者の範囲は、次のいずれに該当することを要件としています。

1. 組合員の配偶者、子、父母、孫、祖父母及び兄弟であって主として組合員の収入によって生計を維持する者

2. 組合員と同一の世帯に属する三親等内の親族で前号に掲げる者以外のもの

3. 組合員の配偶者で届け出をしていないが、事実上婚姻関係と同様の事情にあるものの父母及び子ならびに当該配偶者の死亡後におけるその父母および子で、組合員と同一の世帯に属するもの。

さて「いとこ」が前掲のいずれかに該当すれば共済組合の被扶養者になれるわけですが前掲の（1）（2）および（3）は明らかに該当しません。

したがって「いとこ」は共済組合の被扶養者にはなれなく、国保の被保険者となります。またこの場合国保の世帯主はあなた自身で擬制世帯主になります。

●米穀通帳のこと

電91-3881 内線231

■米穀類購入通帳の期間延長手続きをしてください

お家で現在お持ちの一般用米穀通帳の有効期間は、昭和45年11月30日までにありますが、昭和46年11月30日まで、有効期限が延長されることになりました。

一般用米穀類購入通帳をお持ちの方は、有効期間延長の書きかえを、市役所市民課、または近くの出張所でまかせてください。

●保育所のこと

電91-3881 内線394

■来年入所の保育児を募集します

☆申請書の交付 昭和46年1月11日から児童課および各保育所で。

〈申請所の受付〉

- 1月18日（月）八尾隣保館保育所
- 19日（火）志紀保育園
- 20日（水）母木保育園
- 21日（木）さくら保育園
- 22日（金）あけぼの保育園
- 25日（月）亀井保育園
- 26日（火）西郡、西郡第2保育所
- 27日（水）西郷保育所

- 28日（木）安中保育所
- 29日（金）高安保育所
- 2月1日（月）千塚保育園
- 2日（火）みよし保育園
- 3日（水）仮称八尾保育所

なお、千塚保育園は高安出張所、みよし保育園は労働会館分館（植松町）仮称八尾保育所は福祉会館（光南町）で受け付けます。時間はいずれも午前10時から午後3時。当日は必ずお子さんをお連れください。

●八尾のこと

電91-3881 内線247

■子どもたちの作文「未来の八尾」を募集しています

住みよい、緑のある理想的な町づくりをするため、市では総合基本計画をつくりましたが、未来を背負う子どもたちにも、夢と希望を持ってもらうため、子どもたちが「あすの八尾にどんな夢を持っているか」「どんな町づくりを考えているか」についての作文を募集しています。

☆応募できる人 市内の小、中学校在学中で、小学校3年生以上の児童生徒

☆題 参考として次のような例をあげますが、これらにこだわる必要はありませんので自由なひびのびとした意見、構想を書いてください。

- ①八尾の未来はこのように
- ②新しい都市づくり（住宅街・公園・東部

山地の利用）

- ③新しい交通（未来の乗りもの）
- ④未来のくらしとすまいはこのように
- ⑤未来の子どもの生活
- ⑥こんな施設をつくってほしい

☆用紙 原則として400字詰原稿用紙5枚以内

1ページ目の4行に文題、学校名、学年、組、氏名をはっきり書いてください

☆締め切り日 昭和46年1月20日まで

☆送り先 市役所企画財政部企画課（本町1丁目1番1号 千581）

☆賞 上位入選者には賞状、賞品が贈られます

なお、入選発表は2月下旬の予定です

●講座のこと

電0723-32-7816

■1月19日から郷土史講座を開きます

第5回郷土史講座を1月19日から労働会館で開きますので、ふるってご参加ください。

☆とき 昭和46年1月19日～3月16日の毎週火曜日、午後6時～午後8時

☆ところ 労働会館（近鉄山本駅下車すぐ）

☆受講資格 八尾市民または市内在勤者

☆申し込み 1月10日から労働会館で受付ますが定員80名になり次第締めきります。

〈講座日程〉1月19日 八尾市のうつりか

わり 富田八郎 26日 八尾の産業経済史

武部善人 2月2日 高安と業平 牧村史陽

9日 八尾の古文書 沢井浩三 16日 八尾の美術 辻合喜太郎 23日 明治の八尾の産業 棚橋利光 3月2日 河内のやしろ

井ノ口豊男 9日 古代の八尾 藤井直正

16日 総まとめ（映画）（以上敬称略）

しあわせを築く道

産業と就職の問題 その1

■中小企業問題について

GNP（国民総生産）の成長を誇る「経済大国」日本ですが、はたしてこの日本経済の成長とともに部落産業は、発展したのでしょうか。

泉南町の製瓦業、八尾西郡の花緒製造、安中のニカワ製造、その他皮革・製靴・精肉など多くの部落産業は、つぶれてしまったり、あるいは衰退の一途をたどっています。このことによって、多くの部落の住民は、日々の生活のために、労働条件のきわめて不安定な日雇労働者や季節商、屑物行商、生命の危険がともなう土建関係の仕事につくことを余儀なくされています。

人間らしく生きるといふことさえが奪いとられてしまっているのです。

西郡では4人以下の事業所が54%、安中では17%をしめ、10人以下の事業所が54%、安中では17%をしめ、10人以下を合計すると、西郡76%、安中50%にも達しています。企業といっても内職に毛がはえた程度の手工業ないしは家内工業的なものにすぎないのです。

西成や浪速の製靴業にあっては、6畳の部屋には勉強机が置かれていますが、子どもたちが専用しているのではなく仕上場としても使われ、落ち着いて勉強できないという状態があります。住居と作業場が同一場所で行な



同和問題入門 ④

われ、しかも有毒でそのうえ引火性の強いシンナーや接着剤などが使用されているのです。

このような日本の中小企業に特有な劣悪な作業環境、いつ金のまわりが悪くなってつぶれるかも知れないという不安定性。これらは部落の中に典型的にあらわれています。そして、大企業に駆逐され、衰退していった部落産業。

明治4年解放令一太政官布告がでて、国民平等となりましたが、部落民に対しては何ら生活の保障もせず、逆に部落産業としての特権を奪い、資本主義の競争の中に投げこんだのです。そして武士に対しては、秩禄公債という形で莫大な金（当時の金で2億数千万円）を与えたのです。まさに部落民にとって国民平等とは、権利なしの三大義務（納税、兵役、教育）でしかなかったのです。

昭和44年に出された大府府同和对策審議会答申において、現在の未解放部落の生活の劣悪さは、近代100年、明治100年が生みだしたものとかがれています。

大企業育成が中心にすえられてきた近代100年は、部落産業をつぶし、部落民の生活を破壊してきました。

部落差別を残してきた責任は国であり、行政です。したがって、国・行政の責任において、この差別をなくしていかなければならないのです。その意味で、現在、特別融資、税制運用上同和控除などの配慮が行なわれ、部落の産業の育成がめざされているのです。